

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名		合志市社会福祉協議会運営事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名 古武城 卓
	施策	16	高齢者・障害者の自立促進と社会参加		所属課	福祉課	担当者名 狩野紀彦
	基本事業	47	高齢者の社会参加の促進		所属班	社会福祉班	(内線) 2136
					法令根拠	合志市補助金交付規則	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	9
	1	3	1	1	10426			コスト削減優先度評価結果	1

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
①合志市社会福祉協議会が安定的に運営・機能が果されるように職員の人件費として補助金を交付。
【業務の流れ】
①合志市社会福祉協議会から年間活動計画により事業承認申請書を受取り②審査③補助金の内示④補助金交付申請書を受取り⑤補助金の交付決定、通知⑥概算申請書を受取り⑦補助金の交付⑧実績報告書を受取り⑨補助金の確定、通知(合志市補助金等交付規則による)
【主な予算費目】
補助金

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ・合志市社会福祉協議会の活動に対し人件費分に補助金を交付した	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度同様人件費に対する補助金を交付するが、集中改革プランに則り削減を行う。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 合志市社会福祉協議会職員	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 申請・受付・交付決定・支払い・実績報告、処理時間 H → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 合志市社会福祉協議会へ補助金を支払うことにより、社協の福祉活動円滑に、また活発にできるようになる	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 合志市社会福祉協議会職員数 人 → イ 事務局との協議時間数と処理時間 H
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 住民の地域福祉サービスの向上(高齢者、障害者、子育て世帯、低所得者)が図られる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 対象職員の勤務内容 事業数 → イ 対象職員の勤務時間 時間
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 合志市社会福祉協議会を利用した延べ人数 人 → イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 0	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	50,648	50,648	49,901	49,901	39,638	39,638		39,638
		(A) 事業費計	千円	50,648	50,648	49,901	49,901	39,638	39,638		39,638
		うち指定経費	千円								
		うち時間外、特殊勤務手当	千円								
		トータルコスト(A)+(B)	千円	50,648	50,648	50,180	50,180	39,956	39,956		39,956
活動指標	正規職員従事人数	人			3	3	3	3	3		
	延べ業務時間	時間			70	70	80	80	80		
	(B)人件費計	千円	0	0	279	279	318	318	318		
	活動指標	ア H イ	30	30	30	30	30	30	30		
	対象指標	ア 人 イ H	10 48	10 48	10 48	10 55	10 60	10 60	10 60		
成果指標	ア 事業数 イ 時間	15 2000	15 2000	15 2000	15 2000	15 2000	15 2000	15 2000			
上位成果指標	ア 人 イ	53000	53000	53000	53000	55000	55000	55000	22 年度		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成18年の市の合併に伴い社会福祉協議会も合併し一本化された。それに伴い市よりの補助を行う。
平成18年度より公の施設の管理に関し指定管理者制度を導入し、社会福祉協議会が3施設の指定管理者となった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
・合併により合志市社会福祉協議会としてスタートし約2年が経過した。高齢者世帯、母子世帯、傷病世帯等の増加や地域福祉への関心の高まりから、社会福祉協議会によせられる期待は大きく、その役割も重要なものとなっている。平成19年度に制定した「地域福祉計画」の中核として地域福祉活動計画の策定が計画されている。
・補助金と委託事業費の兼ね合いの協議を進めている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
・職員の人件費に対する補助金であるが、給与ベースアップの要望が上がっている。
・事業に対してどれだけの人件費が必要なのか明確になっていない部分もあり今後協議していく必要はないか。
・民間に委託できるものは民間に、また、社会福祉協議会としての経費削減の努力も必要。
・福祉の中核として、利用者の増大、人員の増加があるので予算を増やすことも検討する必要がある。

事務事業名	合志市社会福祉協議会運営事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	----------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 社会福祉協議会の活動(補助)を支援することにより、社協の活動が活発になり、ひいては住民の地域福祉の向上に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 社会福祉協議会は非営利団体であり、また対象としているのは市民全体であり、市が実施する様々な福祉サービス事業と連携し住民サービスを実施しているので公共性はある。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 社会福祉協議会職員が対象となっているが、事業量と人件費の関連を明確にしていく必要がある。意図については適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 めまぐるしく変わる政策の中で、その内容に応じたサービスを提供してもらわねばならないが、委託事業の事業量を把握する必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 人件費を廃止・休止すると合志市社会福祉協議会の自己資金だけでは運営そのものが成り立たなくなる
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市が行う福祉事業の委託を受けており、連携することにより成果の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 人件費に対する補助であり、削減の余地は無い
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事務の内容③「補助金の内示」等プロセスを見直し、削減の余地があると考えられる。補助金と委託事業費の見直し。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 社協の位置付けは非営利団体となっており、市民全体を対象として活動しているので、市と連携し福祉の充実を図ることから公平公正である

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	他の事業の連携し、細部までサービスを届かせる。また、補助金交付のプロセスを見直し業務にかかる時間の短縮を図る。 ①目的妥当性については、適切。 ②有効性については、他課との連携により、成果の向上を図る。 ③効率性については、補助金と委託事業費の見直し。 ④公平性については、適切。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 政策が変わるごとに、早急に対応し、サービスの充実を図る。また、補助金交付事務のプロセスを見直すことにより人件費の削減余地があると考えられる。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持																							
	低下																							

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

- ・社協への要望は年々高まっており、その役割も大きい。市民のニーズに答えるためにも様々なサービスを提供しなくてはならない。
- ・補助金での支出がいいのか、委託費としての支出がいいのか検討し、社会福祉協議会の事業量と人件費を見直し、効率性を高めていく必要がある。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	11	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)